



第1回 「ウィルスとワクチン」

第2回 「原三溪さんを知ろう！～今も横浜に生きている～」

第3回 「南極から ちきゅう を観る」

第4回 「落語の世界～想像力とコミュニケーション～」

第5回 「脳外科医になったら  
～脳神経のしくみと病気、手術のおはなし～」

## 2021年度（第7期）感想文

【4年生】

◆ 「ウィルスとワクチン」から学んだこと

私は、一回目から五回目の中で一番心に残ったのは、一回目の「ウィルスとワクチン」のことです。理由は、世界中でコロナウィルスがはやりはじめ、ウィルスとは何なのかきょう味もったからです。

私が初めて知ったことで、一番気になっていたことは、どこからなぜコロナウィルスが発生したのかということです。一つ目は、中国ぶ漢の研究所でコウモリの中でコロナウィルスがどう変いするのか実験していた所、とつぜん変いが起きてウィルスがふえ、人にうつってしまった。二つ目は、コロナウィルスがどう変いするのか実験していたところ、新しいウィルスができて広がった。と考えられていることでした。

私は、この話を聞いてどうしてそのような研究をしていたのか、そして、それをどうするのか、とても不思議に思いました。でも、コロナウィルスがはやったから、ワクチンができたり、コロナウィルスについても研究がふえたので、悪いことばかりではないと思いました。

このじゅ業では、色々な研究をしている人達からお話を聞きました。私もこの一年間、小学校の自主学習で自分のきょう味のあることをノートにまとめました。人間のからだの仕組みや宇宙のこと、三けい園についても調べました。調べると、だんだんまとめるのが上手になっていき、自主学習が楽しくなりました。これからも自主学習を続けていきたいです。

#### ◆ 子ども大学の感想

わたしは2021年度の子ども大学を受けて全ての授業が楽しかったです。その中でとくに楽しかったのは2つあります。

一つ目は、第4回の授業「落語の世界～想像力とコミュニケーション」です。立川晴の輔先生の落語は全ておもしろかったです。この授業をきっかけにわたしは、落語に興味を持ちました。

二つ目は、第5回の授業「脳外科医になったら～脳神経のしくみと病気、手術のおはなし～」です。ペアを組んで反射などの実習をするのが一番楽しかったです。もともと脳外科医に少しだけ興味を持っていましたが、もっと興味を持ちました。

わたしは2022年度の子ども大学もとても楽しみです。

#### ◆ 子ども大学よこはまの授業はどれも楽しかったけれど、その中でも一番印象にのこっているのは落語の授業です。

ぼくは、この授業で初めて落語を聞きました。それまで落語を知らなかったけれど、話を聞いて、思わずクスッと笑ったり、思いっきり笑う位に面白かったです。

一番すごいと思ったのは、あんなに長い話を全部暗記していることです。だから、どのように覚えたか質問したら、

「普通に覚えた。」

と、先生は言っていました。ぼくは、短い文章でも覚えるのが大変なのに、とびっくりしました。

コロナであまり外に遊びに行くことが出来なくて、つまらなかったり、イライラすることもある世の中だから、話で人を笑わせることができるのはとてもよいことだと思いました。また機会があったら、落語を聞いてみたいです。

子ども大学よこはまで色々な授業を受けて、たくさんを知ることが出来たので、参加して良かったです。ありがとうございました。

#### ◆ 子ども大学の落語

私は子ども大学を受けて、どれもおもしろい話だなあと思いました。なぜなら、知らなかったことをたくさん教えてもらって、おもしろかったからです。

3つのお話の中で、一番心に残ったのは、落語のお話です。なぜなら、「落語」という言葉も知らなかったし、じっさいに落語を聞いてみたら、とってもおもしろかったからです。一番おもしろかった落語の小話は、

「お母さん白ががはえてるよ。お母さん3本白ががはえてるよ。なんで白ががはえるの？」

「ゆりちゃんがわがままいったり、わるいことをしたりすると、1本ずつはえるのよ。」

「じゃあ、お母さんも良い子になりなよ。」

「なんで？」

「だっておばあちゃんかみ真っ白だよ。」

です。わたしもいつか落語をつくってみたいです。

◆ 第1回授業「ウイルスとワクチンについて」では、細菌とウイルスのちがいや、死亡率が高い感染症について知った。また、ワクチンの効果や、コロナウィルスに感染しない方法も学んだ。狂犬病は死亡する可能性が高かったり、エボラ出血熱はワクチンがなかったりするのがこわいと思った。これらの感染症はこわいので、対策が必要だと思った。

第2回授業「原三けいさんについて知ろう」では、原三けいの人生について深く学んだ。生まれた時の名前が青木富太郎と、一字も原三けいと同じ漢字がないのは、自分だったらいやなので、本人はどう思っているのかと感じた。第二国立銀行をはじめ、様々な企業を生み出したうえに、自分の時間もしっかりあったのも、どれだけむだな時間を省いたのかと、原三けいにはあこがれます。

第3回授業「南極から地球を見る」ではまず、氷がとけていて、海面の高さが高くなってしまふことがこわいと思った。自分の家は標高が高くて大丈夫かもしれないが、海の近くに住んでいる友だちがいるので、おそろしいと感じた。

第4回授業では、立川晴のすけさんの落語を聞いた。一人だけで、何人もの人を演じ、かむことなく、すらすらと話を進めているのが、さすが真打ちだと思った。

第5回授業は脳外科の先生の話に興味があったので、参加できず、とてもごんねんだった。

子ども大学よこはまを通じて、地球の今、昔のすごい人、文化について深く知ることができた。氷がとけないように工夫をしたり、ウイルスに感染しないように対策をしたりなど、今からでも使えることを学ぶことができた。1～3回の授業は ZOOM 授業だったものの、楽しく参加できた。とてもためになる授業だった。

◆ わたしは子ども大学よこはまの第1回から第5回の授業を受けて、どの授業も楽しかったのですが、特に印しように残ったのは第4回と第5回の授業です。

第4回の授業で落語を聞いた時、一番おもしろいと感じたのはしぶやに行った二人が食堂で昼ご飯を食べる話です。お店の人と二人のかけ合いがおもしろく、たくさんの登場人物がでてくるのに、全て一人でえんじてしまうのがすごいと思いました。このときわたしは初めて落語を見たのですが、おもしろくてもっといろいろな話をしりたいと思いました。そこで、笑点の番組を見たり、子ども向けの落語の話がたくさんある本を買って読んでみたりしました。他のたくさんのお話を聞き、もったきょう味がわいてきました。これからもいろいろな話を讀んだりして調べていきたいです。

第5回の授業で脳外科医の先生に脳の話聞いて、神経反射におどろきました。ひざの下部分をハンマーでたたくと、自分では動かしていないのに手にはね上がるように動いたので不思議でした。医者という仕事は、けんさを通してかん者さん一人一人に正かくなはんだんをし、高いぎじゅつと集中力が求められる手じゅつを行わなければいけないので大変だと思いました。他の分野のお医者さんのお仕事はどのようなけんさやしんさつ、ちりょうをやっているのか知りたいと思いました。

わたしは子ども大学よこはまの授業を受けて、いろいろなことにきょう味がでてきました。これからも本やインターネットを使いながら自分なりに調べていきたいです。

#### ◆ 子大学で学んだこと

ぼくは、子ども大学でいろいろなことを学びました。例えば、ウィルスとワクチンなどです。

ぼくが一番思い出になったのは、落語の世界です。ぼくは、落語はどんなものなのだろうとどういうことなのかわかりませんでした。でもこの授業をうけて落語は、おもしろいものなのだなどと分かりとても楽しかったです。

次にもうひとつあります。南極から地球を見るです。どれだけ地球が壊れてるかがよく分かり面白かったです。地球はすぐ壊れているか分かりました。今やらないとすぐに地球は滅亡してしまうから温暖化をふせがないといけないのだと思い1人でも多くの人が取組みれば少しは、おさえられると思いました。

オンラインなどとコロナでいろいろ変わりましたがとても楽しかったです。ありがとうございました。

#### ◆ 子ども大学に参加して

まず私が一番おもしろかったなあと思ったのは、落語です。あんなに長い文章を暗記しているなんて、とてもとてもおどろきました。日本の文化だと思うので、これからも、れきしをつむいでいってほしいです。

最初のころは、オンラインだったので長時間がめんを見て少し頭がいたくなりました。でも、そのなかでいんしょうてきだったのは、カイコです。こちらも日本のれきしを知りました。また、三けいえんには行ってないので、ぜひ三けいえんに行ってみたいなあと思いました。

スタッフのみなさんいろいろなことを知るきかいをつくって下さりありがとうございました。このけいけんを生かして、社会にこうけんしていきたいです。本当にありがとうございました。

#### ◆ 面白かった授業

落語と脳の授業が一番面白かったです。

落語はストーリーが面白かったです。わたしは言葉をなんでも省略するお店の話が記憶に残っています。「きんぴら」が「金曜日に作ったピラフ」などの考えが思いつくのがすごいと思いました。

わたしの母は落語の授業しか聞いていないけれど、どう思ったのか気になったので、感想を聞いてみました。母は面白かったと言っていました。母は師匠はわたしたち子供がのってくるような話をしていたと言っていました。わたしは少しだけ分かったような気がしました。つまりただ話をするだけではつまらないので、わたしたちの様子を見てのってきそうな話題をしているということかなと思いました。

脳の授業は、診察をするのが面白かったです。わたしはあらためて脳はすごいなと思いました。また、かんじゃの病気のげんいんを考えるのも楽しかったです。

わたしは一番落語と脳の授業が面白いと感じたのはなぜか考えてみました。一つ思いつきました。それは、みんなで集まって授業を受けたからではないかということです。なぜなら、家からオンラインで参加すると実験などができないからです。来年は全部の授業をみんなで集まって受けたいです。

#### ◆ 子ども大学よこはまで学んだこと

ぼくが子ども大学をうけてみようと思った理由は、学校でチラシが配られて、きょうみをもったからです。

まず、第1回の授業は初めてだったけど、ウィルスについてよく知ることができました。第2回の授業では、本物のカイコが配られたのでわかりやすかったです。第3回の授業では、今の地球について知ることができました。第4回の授業では、初めて対面授業ができて嬉しかったし、落語が意外とおもしろかった。そして、第5回の授業では、脳のことについてよく知ることができた。

5, 6年生になったら、子ども大学をうけないけど、4年生の授業を活かして、色々なことにちょうせんできるようにになりたいです。

#### ◆ こども大学よこはまに、初めて入ってみて

わたしは、「こども大学よこはま」に初めて入ってみて、とっても楽しかったです。なぜ、そう感じたのかというと、授業がおもしろいものばかりだったからです。

例えば、第4回目の授業では、らくごで笑ってばかりだったし、第2回目では、横浜にいた昔の人のことをくわしく知ることができました。また、第1回目では、ワクチンのことが、知れたので、おもしろいなと感じました。

もう一つ理由があります。それは、「こども大学よこはま」で、知らない人ともいっしょに勉強ができたからです。例えば、第3回目の授業では、教えてくれた先生にしつもんするとき、みんなで話し合っただけたり、第5回目では、ほかの人を、実さいにしんさつしたりできたので楽しかったです。

わたしは、「こども大学よこはま」を続けるので、次にある授業も、楽しく受けたいと思います。

#### ◆ 子ども大学よこはまに参加して

私は、横浜子ども大学にいきました。新型コロナウイルスのえいきょうで、第1回、第2回、第3回はオンライン授業になってしまったけど、第4回と第5回はたいめん授業ができてよかったです。とくにたのしかったのは2つあります。

一つ目は、「原三溪さんを知ろう～今も横浜に生きている」です。理由は、はじめて家族で三溪園にいったら、自然豊かでもとてもいいところで、その場所についてくわしく知れたからです。それに長い年月がたった今でも語りつがれているのがすごいと思ったからです。

二つ目は、「落語の世界～想像力とコミュニケーション」です。理由は立川晴の輔先生のしゃべり方やネタもおもしろかったし、立川晴の輔先生の「想像は自由でいい」という言葉で人を見る目が変わりました。この人いやだなと思っても、少しいっしょになると、あの人やさしいなと思えたりすることがありました。

このように、私はこの2つが楽しかったので、授業を受けることができてよかったです。

#### 【5年生】

#### ◆ 子ども大学で知ったこと

僕は、4回目での落語がおもしろかったです。なぜなら、落語はたくさんの表現を使って演じているので、その場所でのおきていることや、その人がやっている行動などが、とてもイメージしやすかったからです。演技だけでその場所の状況が良くわかるようにするのは、まさに、職人技だなと思いました。更には、小さな小道具でもおおきな役割を担っているのだと気付きました。

Youtubeでも落語の事を調べて動画を見てみたら、すごく面白いなと思いました。また、よくよく考えてみると、これまでは、落語の面白さが、いまいち、分かっていませんでした。しかし、この子ども大学での授業を機に、落語のおもしろさが、だんだんわかってきたようなきがしてきました。つまり、すべては、子ども大学のおかげともいってもいいとおもいます。更には、他の色々な落語に関係のあるものも調べていきたいなと思いました。子ども大学での生の落語は特にすごかったです。

他には第5回の脳の事も面白かったです。脳の授業の時に見つけた頭蓋骨の模型もすごかったです。先生たちも色々と、脳や頭蓋骨の話をしてくれて嬉しかったです。

これからも色々大変だけど頑張っていきたいなと思います。

#### ◆ これからの未来

子ども大学よこはまには初めて参加しました。1年間の予定表を見て、第1回の授業からとても興味がわきました。コロナウィルスで小学校が休校したり、遠足・運動会が中止になりました。そんな怖いイメージのウィルスについて専門の先生からいろいろ教えていただき、前より怖くなくなりました。

今、ウクライナがロシアに侵略されて毎日ニュースで報道されてます。学校の歴史の授業で習ったような出来事が、まさか現在進行形で起きるなんて、ビックリして、怖いです。

でもわからずにただ怖がっているのではなく、子ども大学よこはままで経験した『学び・知り・理解する』ことを生かして自分なりに調べて、どうして侵略が始まったのか、どうしたら止めることができるのか考えたいです。

これから先も、何か起きたら怖がらずに学んで、どうしたら良いか考え、行動していきたいです。一年間、どうもありがとうございました。

#### ◆ 二つの授業で教わったこと

ぼくが、印象に残った授業は2つあります。

1つ目は、「南極から ちきゅう を観る」です。授業のために、地球儀をかってもらいました。南極が大陸で、北極は、氷ということを知っていましたが、どっちなか忘れてしまうことがありました。けれど、地球儀を見れば分かったので授業をしてよかったなと思いました。南極の氷が全て溶けてしまったら。うみの水深が60mも上がってしまうと聞いて一番おどろきました。

2つ目は、「落語の世界」です。一番驚いたことは、落語家さんたちは、長い物語をどのような工夫をして暗記しているか気になっていただけけれど、そのコツは「がんばる」だったので、自分もがんばっていることを覚えようと思いました。学校の授業の「めばえ寄席」で落語を聞きました。いつ聞いても落語はおもしろいと思いました。

最後の授業では、実習もできたので楽しかったです。

来年もこども大学に参加予定なので、来年もとても楽しみです。

◆ 私は1年間を通して、とても面白い事をたくさん知ることができました。とくに心に残った3つの感想を書かせていただきます。

「ウィルスとワクチン」では、今私たちが不安に思っている事について、詳しく教えていただきました。頑張っ、て、手洗いうがいなどのコロナ対策をし、落ち着いてもう少しワクチンを待とうと思えました。

「落語の世界～想像力とコミュニケーション～」は、とても面白く、わくわくする回でした。舐める動作をして、何を舐めているでしょう？の様なクイズの答えを考えるのがとても楽しかったです。

3つ目は、「脳外科医になったら～脳神経のしくみと病気、手術のおはなし～」です。実際にとりの人と診察し合うことができ面白かったです。それで月曜に私の学校でも診察をやってみました。みんな「こんな感じなんだ！」と言っていました。

子ども大学に参加しなければ経験できないようなことをいろいろ体験できて、楽しい一年でした。これからのいろいろな世界を知りたいです。

◆ 私は、子ども大学よこはまに入学できて、よかったですと思います。最初は、コロナのえいきょうで対面での講義ができませんでした。それでも、それぞれの道のプロの方々からのき重なお話をうかがうことができました。また、第4回や5回は、対面でじっくり学ぶことができました。

最も印象に残ったのは、第3回目の、永延幹男先生の「南極からちきゅうを観る」でした。南極イコール寒い、だと私は思っていました。でも実は、大昔の南極はあたたかく恐竜まで住んでいたということです。今みたいに寒くなった後も、独自の生態系が築かれていきました。あらためて、自然のそう大きさに気づかされました。しかし、今その生態系が一気にくずれているというのです。しかも、「わたしたち」のせいで。南極だけでなく、このままでは地球もあぶないそうです。みんなでとりくんで、悲しみの連さが起きるのをふせぎたいです。

私は、5回の講義で、教科書にのってない、でもとても大切なことを教わりました。ときにはむずかしいと思ったこともありました。そのむずかしいところを、先生の分かりやすい解説でよく理解することができました。このことを、自分のこれからの役に立てたいです。

◆ 子ども大学よこはまの授業をうけて

子ども大学よこはまでは、色々なテーマの授業を受けましたが、その中でも私が一番興味を持ったのは、第1回の「ウィルスとワクチン」です。今、全世界で大流行し問題となっているコロナウィルスと、そのワクチンについて、小児科の榊原先生が分かりやすく解説してくださいました。

先生のお話の中で、私が心に残ったのは、コロナウィルスの大きさや形についてです。榊原先生は、細菌よりもさらに小さなウィルスについて、くわしく説明してくださいました。ウィルスはとても小さなもので、人の体とウィルスの大きさの関係を例えるならば、地球と野球ボールと同じぐらいのことでした。また先生はコロナウィルスの名前が、王かん（花輪）に由来していると教えてくださいました。ウィルスの形がリング状で、突起がいくつもあるからとのこと。これほど小さなウィルスなのに、どうしてその形が分かるのだろうと、私はとても不思議に思いました。この小さなウィルスが全世界の人たちに肺炎を起こすということは、おどろくべきことですが、子どもはほとんど軽症で済むというのも不思議です。さらに、コロナウィルスを予防するワクチンがもう発明されたことにはおどろきました。新しいワクチンは、コロナウィルスにかかりにくくなったり、かかっても重病化せずに済むそうです。

今世界中の人たちが困っている現象がこんなに小さなウイルスによって起きていることを不思議に思いますし、そんなに小さな世界で効果があるワクチンを発明した人は、本当にすごいと思います。

私も将来、大勢の困っている人たちの役に立つようなアイデアを見つけたいと思います。

## 【6年生】

### ◆ 子ども大学横浜の授業を受けて

私は、子ども大学横浜の授業を受け、たくさんのことを学びました。

第1回の授業では、ウイルスとワクチンについて学びました。ウイルスは、生き残るために変異するというのを知り、コロナウイルスもオミクロン株に変異して生き残ろうとしているのだと分かり、とても感心しました。今、コロナの3回目・4回目のワクチン接種を実施されています。ワクチンを接種すると病気になりにくいと分かったので、私も3回目を接種したいと思いました。

第2回では、原三溪さんについて教わりました。私は、「美術品の歴史や美しさ、価値は自分だけではなく、みんなで共有するべきです」という言葉がとても心に響きました。原三溪さんの心の広さが表れていると思いました。そのようなところがあった三溪さんだからこそできたことは幾つもあるのではないかと思います。

第3回の授業では、地球環境について学びました。今、地球はとても深刻で一人ひとりがそれを理解しなければいけないと思いました。また、私たち若い世代が行動しなければ変わらないので、身近な「地球のためにできること」をしていきたいです。

第4回では、落語について学びました。私は学校で一度落語を聞いたことがありましたが、すごく久しぶりに聞き、とても楽しむことができました。聞くことと聞こえることの両方を使い、コミュニケーションをとっていきたいです。

第5回の授業では、人の反射や神経・脳について学びました。私は眼科に行ったとき、まぶしい光を目に当てられることをどうしてだろうと思っていましたが、それは対光反射が正常か見るためだと分かり、おどろくと同時に、人はすごいなと思いました。

私たちに授業をして下さった榎原洋一先生、猿渡紀代子先生、永延幹男先生、立川晴の輔先生、山本哲哉先生、そしてかげで支えて下さったスタッフの方々、ボランティアの方々、ありがとうございました。最初はいやいや参加した子ども大学でしたが、いざ参加するととても楽しく、より深い学びにつながったと思います。本当にありがとうございました。

### ◆ 第五回までの授業を終えて

私は、去年に続いて子供よこはま大学に参加しています。今年度の第一回から第五回までの授業で一番印象に残っている授業は、第5回の脳についての授業です。私が印象に残っていることは3つあります。

まず1つ目は、脳卒中を疑う症状には失語症・構音障害・片麻痺・顔面神経麻痺の4つがあり、急に出てくるのが特徴で、脳卒中の治療は診断や病院までの移動時間が大切で最悪な場合、治療できなくなってしまうことが分かりました。去年の秋に私の祖父が、母に電話をかけてきて、言葉がはっきり話せないこと、ふらつきや吐き気があると話し、母がすぐに病院に行かせたことで、脳こうそくの初期だと分かり、右手足の麻痺だけでした。このことをふまえて、診断や病院までの移動時間が大切で早い対応



が必要だと、話を聞いて改めて思いました。

2つ目は、実習を実際にやってみたことです。今までにやったことがなく、初めての経験でふだんお医者さんがするハンマーなどで軽くたたき診察が、こういう風になると発見できたからです。

3つ目は、授業中に出てきたくも膜下出血についてです。くも膜下出血という言葉は聞いたことがあったけれども、脳の動脈瘤にこぶができてこれが破れつすると、くも膜下出血になることや脳動脈瘤手術のしかたについても知らなかったからです。

このように、知らなかったことがくわしくいろんなお話が聞けてうれしかったです。来年度は、中学1年生なので、ボランティアとして参加できたらいいと思います。

◆ 今年度が初めて入学しましたが、その授業を受ける前は知らなかったことを知ることができました。全ての回でまったく知らない、分からないというところだったので、新しいことを知ることができたという実感が強かったです。

ウィルスが変異したら、強くなるかもしれないし、そのままの強さになるかもしれないし、弱くなるかもしれないということや、三溪さんは明治の日本の産業を支えていたということなどが、すごくおどろきでした。

話を聞いてからあまり実行できていませんが、自分の中に新たな知識が得られました。もっと本や新聞、ニュースでくわしくなってその分野について聞かれたときに分かりやすく細かくその人に教えることができるようになりたいと思います。